

科目名称：	旅行業務論	
担当者名：	若月 博延	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
観光やビジネスのために人々が移動します。その規模は、国内、海外問わず、確実に拡大の方向へ向かっています。人の移動、観光には、単に経済活動の1つというだけでなく、その先には、相互交流、相互理解、国際平和といったキーワードがあります。この動きをさらに加速させるのが旅行業です。このような旅行業に必要な旅行実務、法律等を身に付けることを目的としています。		
授業の達成目標・到達目標		
最終的に旅行商品を自分で作れるようにします。そのために鉄道、航空券の基礎知識から仕入れ方、個人で購入する方法などを学びます。個人旅行する際にも必要な知識を身につけます。また、空港コード、都市コード、航空会社コードに関わるテストを毎回行う予定です。そのための事前学修を課します。		

ビジネス実務学科		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。		
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。		○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	0	0	65	35	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
チームでの話し合いについて	意見の少ない人にも発言を求めて、積極的に場を盛り上げた。	自ら発言し、場を盛り上げる手助けをした。	話し合いに参加し、相応の意思表示はできた。	話し合いにいただけ、もしくは不参加。
自分の考え方を発言出来たか	積極的に自分の意見を発表し、話し合いをリードした。	話し合いにおいて発言者の意見に対し、自分の意見の表明は行った。	他人の意見に賛成や反対の表明はできた。	消極的な参加にとどまった。
グループでの意見取りまとめについて	グループの結論を出すのに積極的にリードした。	グループの結論を出すのにサポートした。	グループの結論を出すのに意見が言えた。	関わらなかった。
プレゼン作成について	自らリードして作成した。	作成を積極的にサポートした。	作成に多少関わった。	関わらなかった。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 旅行業はどうやってお金を集めるのか	旅行会社に行き、店舗内を見てくる。	30分
第2回 旅行業の種類	旅行にはどんな会社があるのか書きだしてくる。	30分
第3回 海外エージェントの仕事	旅行会社のWebSiteを見て、使いやすい会社を見つけてくる。	30分
第4回 募集型企画旅行の販売	旅行会社でお気に入りの観光パンフ（チラシ）を見つけてくる。	30分
第5回 受注型企画旅行の販売	自分の修学旅行の資料を集めてくる。	30分
第6回 鉄道移動の仕方から乗車券の理解まで	インターネットを利用した鉄道移動の検索方法を身につけてくる。	30分
第7回 航空移動の仕方からチケットの理解まで	インターネットを利用した格安航空券の検索方法を身につけてくる。	30分
第8回 宿泊施設の選び方と予約の仕方まで	インターネットを利用した宿泊施設の検索方法を身につけてくる。	30分
第9回 旅行業でのクレーム（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	旅行クレームを集めてくる。	30分
第10回 旅行事故が起こったとき	旅行中の事故記事を集めてくる。	30分
第11回 旅行商品研究（国内旅行）：グループワーク	旅行会社でお気に入りの国内旅行のパンフ（冊子）を持ってくる。	30分
第12回 旅行商品の作り方（国内旅行編）：グループワーク	課題の観光地の資料を集める。	30分
第13回 旅行商品研究（海外旅行）：グループワーク	旅行会社でお気に入りの海外旅行のパンフ（冊子）を持ってくる。	30分
第14回 旅行商品の作り方（海外旅行編）：グループワーク	課題の観光地の資料を集める。	30分
第15回 サービスマーケティング	旅行商品を売るために必要なことを考えてくる。（小レポート）	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準
定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。 各授業で行われる課題を30%、グループワークのアクティビティを35%、最終レポートを35%として評価する。

課題に対してのフィードバック
課題、グループワークをルーブリックで評価し返却。

教科書・参考書
授業の都度レジュメ配付する。参考文献はその都度指示する。